

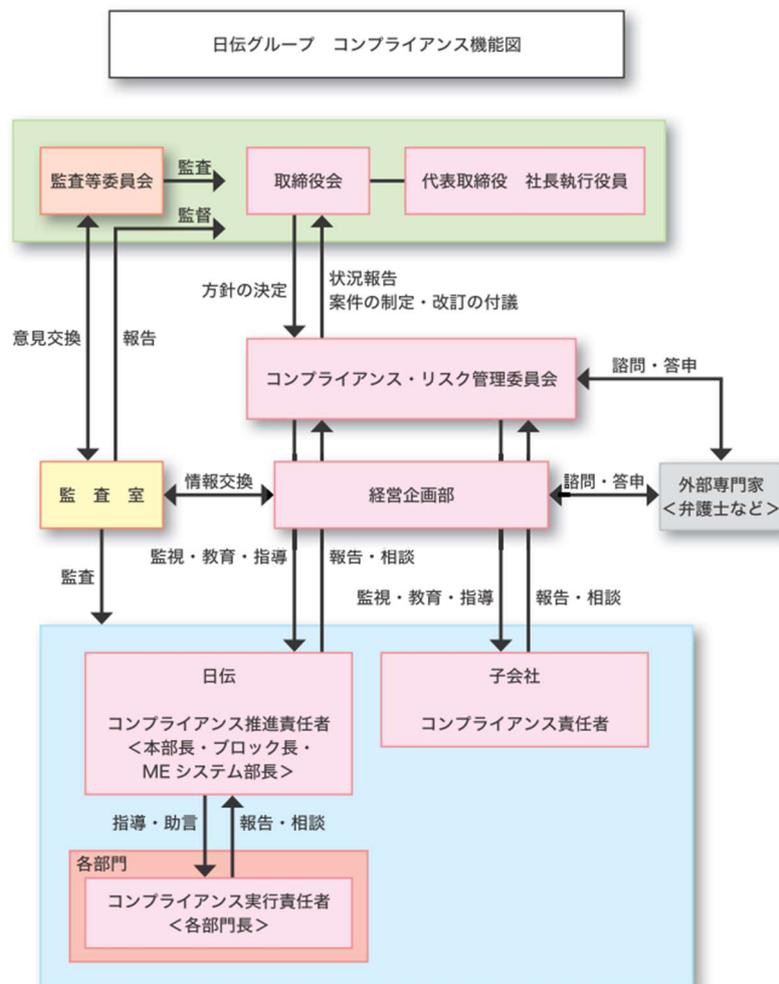
日伝グループ 倫理・コンプライアンス方針

■方針・基本的な考え方

当社グループが社会的責任を果たし、永続的に発展するためには、コンプライアンスの徹底が必要不可欠であると認識しています。コンプライアンスの徹底においては当社の社是である「誠実」「経営理念」「パーパス」「行動指針」「行動憲章」に基づき、すべての役員および従業員（以下「役職員」といいます。）に「コンプライアンス行動ガイドブック」を配付し、高い倫理観に基づいて行動し、ステークホルダーから信頼される企業となるべく取組みを推進しています。

1. コンプライアンス推進体制

日伝グループは、グループ全体のコンプライアンス体制の強化を図るために、代表取締役社長執行役員を委員長とするコンプライアンス・リスク管理委員会を設置し、日伝グループ全体のコンプライアンスに関する遵守状況をモニタリングしています。また、取締役会はコンプライアンス・リスク管理委員会での審議結果等の報告を都度受けるとともに、コンプライアンス・リスク管理体制を監督し、その適切性・有効性を検証・評価しています。なお、不測の事態が発生した場合には、社内規程に基づき、迅速に対応し損害の極小化に努めております。



2. 取組み

(1) 腐敗行為の禁止

秩序ある自由な競争市場の維持・発展に貢献するために、法令を遵守し、高い倫理観を持った公正な事業活動を推進し、贈収賄を含むあらゆる腐敗行為を行いません。

(2) 反社会的勢力の排除

「反社会的勢力対応マニュアル」に基づき、反社会的勢力といかなる関係も持たないことに努め、公共の信頼を維持し、社会の安全や健全な企業経営を実現します。

(3) 不正行為および流用の禁止

不正行為や流用*の発見や予防の責任は代表取締役 社長執行役員にあり、すべての役職員は、事業を行う上で、最大限の誠実さや倫理観を保つことが求められています。

* 日伝グループの資産流用などの不正な行為、財務報告に関する虚偽を示す行為、役職員が、自らまたは第三者の利益のために重要な情報を漏洩することを指します。

(4) 利益相反の禁止

役職員の利益と会社の利益が相反する状況下においては、関連する法規制や社内規程、マニュアルに従い、会社の利益を優先して行動します。

(5) 不公正な取引の禁止

独占の禁止および公正な競争に関連する法規制や社内規程、マニュアルに従い、公正で自由な競争の下に事業を行います。カルテルや談合などの競争を制限する行為や、取引上の立場を利用する、優越的な地位の濫用などの不公正な取引を行いません。

(6) 会社情報の適切な開示

会社情報を適時・適切に開示します。また、会社情報を適切に取扱い、役職員によるインサイダー取引を厳格に禁止し、証券市場に対する投資家の信頼を確保します。

(7) マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与の防止

犯罪による収益の移転およびテロリストへの資金供与、大量破壊兵器の拡散に対する資金供与に当社グループの商品・サービスが利用されないように努めます。

(8) 個人情報の保護、機密情報の管理

業務に関連して取得した個人情報や機密情報、作成されるデータについては、法規制や社内規程、マニュアルに従って、適切に取り扱います。

(9) 知的財産の保護

日伝グループが保有する知的財産を保護するとともに、第三者が保有する知的財産を侵害しません。

(10) 適切な輸出入手続

日伝グループは、貿易に関する国内外の法令・規制や税務関連法令などを遵守し、企業の社会的責任を果たすことで企業価値の最大化を図ります。

(11) 内部通報制度

日伝グループでは、企業倫理・コンプライアンスの浸透をモニタリングする仕組みとして、内部通報制度「ほっとライン」を整備し運用しています。社内外に内部通報窓口を設置し、「コンプライアンス行動ガイドブック」・社内規程・法令に違反する行為、またはそのおそれのある行為について、通報（匿名を含む）を受け付けています。秘密厳守や通報者が不利益を受けないことなどを社内規程で定めて運用しています。内部通報制度は、社内研修などを通じて周知を図っています。

(12) コンプライアンスの教育・研修・啓発

日伝グループは、すべての役職員が法令や倫理的要件を理解し、遵守することを徹底するために、コンプライアンスの教育・研修・啓発を実施しています。これらを通じて、企業倫理と法令遵守の徹底に努めています。